

令和2年度 さいたま市立大谷場中学校 学校関係者評価書

さいたま市立大谷場中学校

学校関係者評価委員長 山 岸 陽 子 ㊞

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 9人
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に関して
 - ・体育祭及び合唱祭について、規模を縮小したものの実施ができたことは、特に三年生にとっては良かった。
 - ・引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、衛生環境の維持と防疫に努め、生徒及び教職員の健康・安全の維持を図ってほしい。
 - ・今年度は部活の活動時間や日数が制限されたり、吹奏楽部のサマーコンサートが実施できなかったりしたことが残念である。
 - ・音楽科の歌唱や演奏など技能教科の体験的な活動について、先生方が様々な工夫をしながら感染防止に努めてくれていたことに感謝する。ICT教育の充実も良いが、体力向上にも努めてほしい。
- (2) 令和3年度より大谷場東小学校の高学年が「さいたま市小学校教科担任制」を実施することについて
 - ・谷田小学校と大谷場小学校との小・中一貫教育の在り方については、今後はどのようなようになるのか？
 - ・大谷場東小学校だけでなく、両小学校とも引き続き連携を図ってもらいたい。
- (3) 生徒一人につき一台貸与される教育用タブレットを活用した指導について
 - ・電源の確保や通信量の整備など、使用環境の整備は進んでいるのか？
 - ・自宅に持ち帰れるようになることで、様々なトラブルが生じないか心配している。(YouTubeなどで不適切な動画を長時間視聴したり、破損したりしないかなど)
 - ・保護者向けの説明書や注意書きのようなりーフレットなど、市で統一されたものがあると良い。
 - ・教育用タブレットを活用した授業のやり方について、全ての先生方に周知していかなければならない。
- (4) 「心と生活のアンケート」の「いじめ被害」を訴えた生徒に対する面談について
 - ・教員は、被害生徒が面談時に言った「付け間違えました。」とか「回答箇所を間違えました。」という言葉信じないで、面と向かって訴えることは困難だが、SOSを発信しているものとしてとらえ、粘り強く傾聴し、真実を突き止めてほしい。
 - ・地域住民としては「いじめの無い集団は存在しない」と捉えており、それは文部科学省やさいたま市教育委員会も同様の見解であるようだ。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に関して
 - ・引き続き国及び市教委で定められた「学校教育活動実施マニュアル ～学校の新しい生活様式～」に則り、全校をあげて新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める。
- (2) 令和3年度より大谷場東小学校の高学年が「さいたま市小学校教科担任制」を実施することについて
 - ・令和3年度から本校と大谷場東小学校は、「さいたま市小学校教科担任制」に係る市教委の研究委嘱を受ける。市教委の指導の下、特に教育課程について研究を進めていく。
- (3) 生徒一人につき一台貸与される教育用タブレットを活用した指導について
 - ・教育用タブレットを活用した指導等に関する校内研修等を積極的に実施して、効果的な活用を目指す。
- (4) 「心と生活のアンケート」の「いじめ被害」を訴えた生徒に対する面談について
 - ・引き続き、全ての教職員が様々な方策によって、いじめが発生していないか観察するとともに、いじめが起きた場合には丁寧に対応していく。

さいたま市立大谷場中学校長

館 岡 靖 哲 ㊞